

2012年9月7日

受益者 各位

管理会社：SMBC日興インベストメント・ファンド・
マネジメント・カンパニー・エス・エイ
投資顧問会社：日興アセットマネジメント ヨーロッパ リミテッド
代行協会員：SMBC日興証券株式会社

**ニッコウ・マネー・マーケット・ファンド ユーロ・ポートフォリオ
(ユーロMMF)の買付停止および繰上償還(予定)のお知らせ**

拝啓 時下、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

また平素は、格別のご愛顧を賜り誠にありがとうございます。

さて、ご投資いただいておりますニッコウ・マネー・マーケット・ファンド ユーロ・ポートフォリオ(以下、「ユーロMMF」といいます。)は、1996年に運用を開始して以来、安全性を重視した運用および安定的な利回りならびに翌日決済といった利便性を備えた商品性であることから、多くのお客様にご愛顧いただいております。

しかしながら、ご高承の通り、ユーロMMFの運用を行う昨今のユーロ建ての短期金融商品市場は、ECB(欧州中央銀行)による利下げ等の影響から、ゼロ近辺もしくはマイナス金利となる銘柄が発生しているなど、投資環境が著しく悪化しております。

このような環境の中、ファンドの管理会社は、投資顧問会社とユーロMMFの今後の運用について協議を重ね、お客様の利益を第一に考えた結果として、元本の安全性に配慮しながら今後の運用を継続することは困難であるとの判断をいたしました。

このため管理会社は、上記判断に基づき、別紙の通り、ユーロMMFを繰上償還することとし、また繰上償還に先立ち、ユーロMMFの新たな買付けを停止することを決議いたしました。

ユーロMMFの買付停止および繰上償還(予定)にあたりましては、お客様には大変なご迷惑をおかけすることになりますが、ご理解とご高配を賜りますようお願い申し上げます。

なお、今後のスケジュールおよび手続等につきましては別紙に記載の通りとなります。また、Q&A集を作成させていただきましたので、併せてご高覧いただきますようお願い申し上げます。

敬具

別紙1

1. 買付停止および繰上償還（予定）のスケジュール

・2012年9月6日（木）（ルクセンブルグ時間）

管理会社がユーロMMFに関し以下を決議しました。

①「新たな買付けの停止」（※1、2）

②「繰上償還の予定」

※1 管理会社における決議によって、同年9月7日（金）（日本時間）の買付注文を最後に停止となります。

※2 既存契約にもとづく自動買付（つみたてサービス、利金・分配金・償還金からの買付け等を含みます。）および月末再投資を除きます。

なお、上記に先立つ2012年9月4日（火）（ルクセンブルグ時間）に、投資方針に関する決議（後記の「投資方針に関するお知らせ」参照）が行われておりますので併せてご高覧ください。

・2012年10月4日（木）（ルクセンブルグ時間）（予定）

管理会社による「2012年12月6日付繰上償還」の決議予定

※管理会社による決議によって、2012年12月6日（木）（ルクセンブルグ時間）をもってユーロMMFを繰上償還する旨を決議する予定となっております。

※既存契約にもとづく自動買付も、同年10月5日（金）（日本時間）の買付注文を最後に停止となります。

・2012年12月6日（木）（ルクセンブルグ時間）（予定）

償還日

償還金の受渡しは、同年12月7日（金）（日本時間）からを予定しております。詳細はお取扱いの各販売会社までお問合わせください。

2. 買付停止および繰上償還（予定）の理由と経緯

ユーロMMFの運用を行うユーロ建ての債券および短期金融商品市場では、欧州財政不安に端を発した金利の低下が長期化するものとみられ、いずれユーロMMFもゼロまたはマイナスの利回りによる投資を余儀なくされる可能性が高い状況となっております。また、このような投資環境は、現在の欧州経済を勘案すると中期的にみても十分な改善が見込める状況ではなく、管理会社と投資顧問会社とがこれらを総合的に検討した結果、ユーロMMFに求められる安全性の高い運用は、近く継続が困難になるとの判断にいた

■当資料は、SMBC日興インベストメント・ファンド・マネジメント・カンパニー・エス・エイおよび日興アセットマネジメントヨーロッパリミテッドより提供された情報・データを基に、SMBC日興証券株式会社が受益者の皆様向けに、当ファンドの販売停止および繰上償還決議の予定に関してのご理解を高めていただくために作成した資料です。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、1口当たり純資産価格は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。

りました。このため管理会社は、投資顧問会社および代行協会と協議のうえ、受益者の皆様の最大の利益を図る立場から、ユーロMMFを繰上償還することとし、繰上償還にかかる機関決定に先立ち、ユーロMMFの新たな買付けを停止いたしました。

なお、上記1. で記載されております「投資方針に関する決議」は、「ユーロMMFのファンド資産の50%超を有価証券に投資する」という投資方針が、償還に向けファンド資産の現金比率を高めていく過程で、9月6日以降、準拠されなくなる可能性があり、その旨を事前に決議し、お知らせするものです。ご理解賜りますようお願い申し上げます。

3. 買付停止について

- 2012年9月7日（金）（日本時間）付の買付けのお申込みを最後に、既存契約にもとづく自動買付（つみたてサービス、利金・分配金・償還金からの買付け等を含みます。）および月末再投資を除く、新たな買付けを停止させていただきます。
- また、同年10月4日（木）（ルクセンブルグ時間）に予定されるユーロMMFの繰上償還にかかる決議に基づき、2012年10月5日（金）（日本時間）をもって、月末再投資を除きすべての買付が停止となる予定です。

4. 買戻し（換金）の取扱い

買戻し（換金）のお申出につきましては、2012年12月4日（火）（日本時間）まで、受付ける予定です。

■当資料は、SMBC日興インベストメント・ファンド・マネジメント・カンパニー・エス・エイおよび日興アセットマネジメントヨーロッパリミテッドより提供された情報・データを基に、SMBC日興証券株式会社が受益者の皆様向けに、当ファンドの販売停止および繰上償還決議の予定に関してのご理解を高めていただくために作成した資料です。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、1口当たり純資産価格は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。

別紙2

(ユーロMMF買付停止、および今後のお取扱いに関するQ & A)

買付停止、繰上償還について

Q.1 新規買付の停止および繰上償還に至った背景について教えてください。

A.1 現在、ユーロ建て債券および短期金融商品の市場は、ECB（欧州中央銀行）による利下げの影響等もあり、ゼロ近辺もしくはマイナス金利となる銘柄が発生するなど、金利は著しく低下しており、特にその傾向は、ユーロMMFが投資対象としている信用力が高い高格付け銘柄ほど顕著になっております。当面こうした状況が改善する見込みが立たない中では、ユーロMMFへの新規買付資金の新たな投資対象が限られたものとなりつつあり、また、元本の安全性に配慮しながら運用を継続するのは困難と考えております。

このような状況を勘案した結果、ユーロMMFについては、新規の買付を停止させていただくこととし、併せて、今後、所定の手続きを経て正式に繰上償還させていただくことを予定しております。

Q.2 いつから新規買付は停止になりますか。

A.2 2012年9月7日（金）のお取扱いの各販売会社における申込み時限までの注文をもって、新規買付は停止となります。その時限より後の買付はできません。

Q.3 「新規買付」とは具体的に何を指しますか。

A.3 すべての新規買付のうち、以下のものを除いた買付のことを指します。

- ・ 分配金による月末再投資
- ・ 既にお申込みいただいている他商品の利金・分配金・償還金などからの自動買付
- ・ 既にお申込みいただいている積立などの契約に基づく自動買付

Q.4 既存契約に基づく自動買付（利金・分配金・償還金・つみたてサービスによる自動買付け等）については行われますか。

A.4 既に契約されている自動買付については、管理会社において繰上償還が決議（10月4日決議予定）されるまでの間は買付を行います。繰上償還決議後は、10月5日（金）の買付をもって買付停止となります。

また、自動買付契約の新規申込みについては、9月7日（金）までの申込みをもって停止させていただきます。

■当資料は、SMBC日興インベストメント・ファンド・マネジメント・カンパニー・エス・エイおよび日興アセットマネジメントヨーロッパリミテッドより提供された情報・データを基に、SMBC日興証券株式会社が受益者の皆様向けに、当ファンドの販売停止および繰上償還決議の予定に関してのご理解を高めるため、作成した資料です。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、1口当たり純資産価格は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。

Q.5 ユーロ建ての外国株式、外国債券、外国投信の売却代金から買付することは可能ですか。

A.5 外国株式・外国債券・外国投信の売却代金からの買付は、新規の買付に該当いたしますのでお買付はできません。

※お取扱いの販売会社によって、自動買付の既存契約に基づいて外国証券の売却代金から買付を行っている場合は、この限りではございません。

Q.6 分配金の月末の再投資は通常通り行われますか。

A.6 分配金の再投資につきましては通常通り行われます。また、買付停止または繰上償還決議後も償還日前の毎月末（9月、10月および11月の各月末）に行われる予定です。

（※将来の分配金の支払いについて保証するものではありません。）

Q.7 スイッチングはできますか。

A.7 他の通貨のMMFからのスイッチングによるユーロMMFの買付は停止させていただきます。なおユーロMMF以外のMMF間のスイッチングおよびユーロMMFからスイッチングによる他の通貨のMMFの買付は従来通り行うことができます。

※ユーロMMFからスイッチングによる他の通貨のMMFの買付は、2012年12月4日（火）までお申込みを受付けいたします。スイッチングの取扱いについての詳細は、お取扱いの各販売会社までお問い合わせください。

買戻し、元本保全

Q.8 今後もこれまで通り買戻し（換金）はできますか。

A.8 ユーロMMFの運用資産内容は2012年7月末現在13%が現金、18.4%がCD、55.8%がCPとなっており、また、残存年限で見ても31.6%が30日以内、45.6%が90日以内となっているため、買戻しに係る流動性に問題はございません（資産内容の詳細についてはA.10の表をご覧ください）。また、繰上償還決議後も償還日の前々日（2012年12月4日）まで買戻しの受付けが行われる予定です。

Q.9 元本割れの可能性はあるのですか。

A.9 ユーロMMFの運用資産の格付分布は、2012年7月末現在で83.6%が最も高い格付となっており、高い信用を維持しています。引き続き元本を維持し流動性を保ちながら安定的な運用を行ってまいります。預貯金とは異なる投資信託であるため、必ずしも元本が保証されているものではありません（資産内容の詳細についてはA.10の一覧表をご覧ください）。

■当資料は、SMBC日興インベストメント・ファンド・マネジメント・カンパニー・エス・エイおよび日興アセットマネジメントヨーロッパリミテッドより提供された情報・データを基に、SMBC日興証券株式会社が受益者の皆様向けに、当ファンドの販売停止および繰上償還決議の予定に関してのご理解を高めていただくために作成した資料です。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、1口当たり純資産価格は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。

運用状況、市場環境

Q. 10 現状の組入れ状況について教えてください。

A. 10 2012年7月末現在の組入れ状況は以下の通りです。

元本の安全性に最大限の配慮をしながら、高格付の短期証券による運用を継続しております。特に足下では、ユーロ建てマネー市場の金利が大きく低下しており、マイナスの金利となる銘柄なども発生しているため、そうした銘柄への投資は控えるなど、慎重な運用を行っております。

<7月末現在のポートフォリオ>

<格付分布>

現預金	13.0%
P-1	83.6%
P-2	0.0%
Aaa	0.0%
Aa	3.4%
A	0.0%
Baa以下	0.0%
合計	100.0%

<残存年限別構成比>

現預金	13.0%
30日以内	31.6%
90日以内	45.6%
180日以内	9.9%
1年以内	0.0%
1年超	0.0%
合計	100.0%

※変動利付債は次回利払日までの日数で計算しています。

<資産構成比>

CD	18.4%
CP	55.8%
変動利付債	3.4%
普通債	9.5%
現預金	13.0%
合計	100.0%

※最新の月次レポートにつきましては、お取扱いの各販売会社までお問い合わせください。

Q. 11 他の通貨のMMFにはユーロMMFと同様の事情は発生していないのですか。

A. 11 他の4つのMMFについては、現在のところ同様の事情が発生するとは考えておりません。

Q. 12 マイナス金利とはどのようなものなのですか？

A. 12 マイナス金利とは、投資家が利息を得るのではなく、コストを払って債券等を買入れる状態のことを言います。

Q. 13 どうしてマイナス金利が発生しているのですか。

A. 13 ユーロ圏では中銀預金金利が0%に引き下げられるなど金利水準は非常に低く、またユーロ圏内における信用不安などを背景として信用力の高い債券等に投資家の人気が集まっていることから、コストを払ってでもそのような債券等を購入したいという投資家が現れ、結果としてそのような債券等についてはマイナス金利となるような市場環境となっております。

■当資料は、SMBC日興インベストメント・ファンド・マネジメント・カンパニー・エス・エイおよび日興アセットマネジメントヨーロッパリミテッドより提供された情報・データを基に、SMBC日興証券株式会社が受益者の皆様向けに、当ファンドの販売停止および繰上償還決議の予定に関してのご理解を高めていただくために作成した資料です。

投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産は為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、1口当たり純資産価格は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。

別紙3（管理会社からの通知）

（抄訳：「新たな買付けの停止」および「繰上償還の予定」のお知らせ）

SMBC日興インベストメント・ファンド・マネジメント・カンパニー・エス・エイ

9A, Rue Robert Stümper, L-2557 Luxembourg

R. C. S. Luxembourg B N° 39615

（以下、『管理会社』）

受益者通知

ニッコウ・マネー・マーケット・ファンド ユーロ・ポートフォリオ

（以下、『サブ・ファンド』）

ルクセンブルグ、2012年9月6日

受益者の皆様へ

2012年9月4日付の通知において、管理会社取締役会は、サブ・ファンドの利回りが低下した旨、および今後も低下傾向にある旨をお知らせいたしました。更なるご連絡を申し上げます。

取締役会は昨今の情勢に鑑みて、2012年9月6日に、(i) 特定の契約に基づく買付注文、および(ii) 目論見書に記載される分配金再投資によるものを除いて、サブ・ファンドの受益証券の発行を2012年9月8日より停止することを決定いたしました。また、特定の契約に基づく買付は今後すみやかに終了されることとなります。

また、取締役会は、2012年10月4日頃にあらためてサブ・ファンドの状況を分析し、市場やその他の条件を勘案し、2012年12月6日頃にサブ・ファンドを償還することについて決議する予定でございますことをあわせてお知らせ申し上げます。

管理会社 取締役会

■当資料は、SMBC日興インベストメント・ファンド・マネジメント・カンパニー・エス・エイおよび日興アセットマネジメントヨーロッパリミテッドより提供された情報・データを基に、SMBC日興証券株式会社が受益者の皆様向けに、当ファンドの販売停止および繰上償還決議の予定に関してのご理解を高めていただくために作成した資料です。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、1口当たり純資産価格は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。

(抄訳：「投資方針に関するお知らせ」)

SMBC日興インベストメント・ファンド・マネジメント・カンパニー・エス・エイ

9A, Rue Robert Stümper, L-2557 Luxembourg

R. C. S. Luxembourg B N° 39615

(以下、『管理会社』)

受益者通知

ニッコウ・マネー・マーケット・ファンド ユーロ・ポートフォリオ

(以下、『サブ・ファンド』)

ルクセンブルグ、2012年9月4日

受益者の皆様へ

この度、管理会社の取締役会は、昨今の市場動向、とりわけユーロ通貨の動向の影響により、サブ・ファンドの利回りが低下し、また今後も低下し続ける可能性があることを受益者の皆様にお知らせいたします。その結果としてサブ・ファンドは、2012年9月6日をもって、資産の50パーセント以上を金融商品取引法（昭和23年法律第25号）第2条第1項で定められる有価証券に投資しなければならない、という投資義務を遵守できない立場に置かれる可能性が出てまいりました。これによりサブ・ファンドは、2012年9月6日をもって資産の50パーセントを超えて現金を保有する潜在的な可能性が発生しておりますことをお知らせいたします。

管理会社 取締役会

■当資料は、SMBC日興インベストメント・ファンド・マネジメント・カンパニー・エス・エイおよび日興アセットマネジメントヨーロッパリミテッドより提供された情報・データを基に、SMBC日興証券株式会社が受益者の皆様向けに、当ファンドの販売停止および繰上償還決議の予定に関してのご理解を高めるため、に作成した資料です。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、1口当たり純資産価格は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。